

## 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が 発行する「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資について

和歌山県信用保証協会（以下「当協会」という）は、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するCBI認証付きサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資を決定しました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準等<sup>注1)</sup>に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNVによる検証と、厳格な国際基準を設けるClimate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。

また、本債券の発行による調達資金は、環境負荷を低減させる交通インフラの整備等のグリーンプロジェクトに100%充当されるだけでなく、地域の生活に必要不可欠というソーシャル性も有するものであり、国連の持続可能な開発目標（SDGs）<sup>注2)</sup>の達成にも貢献するものです。

当協会は、適切なリスク管理のもとで、同様の投資を検討していくとともに、「信頼され・親しまれ・期待される信用保証」を目指し、中小企業・小規模事業者の金融の円滑化に努め、信用保証協会としての社会的責任を果たして参ります。

注1) 気候ボンド基準3.0版・陸上交通基準2版（CBI）、  
グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン  
（2021年 国際資本市場協会ICMA）、  
グリーンボンドガイドライン（2022年版 環境省）、  
ソーシャルボンドガイドライン（2021年版 金融庁）

注2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上